

待ち濡れた女 (1987)

メディア 映画
ジャンル エロティック
製作国 日本
色彩 Color
時間 96分
初公開日 1987/12/19
公開情報 につかつ
映倫 R-18

【解説】

高橋揆一郎の短編小説『雨ごもり』をもとに、荒井晴彦が脚色し上垣保朗が監督したロマンポルノ。接近する台風に備え、山間の一軒家に一人で暮らすつやは買い物に出かけた。その途中、彼女は河原に車を止めた一組のカップルを目撃する。買い物から戻ると、玄関の前で別居している夫の長吉が待ち構えており、つやに復縁を迫った。しかしつやが断ると、長吉は現金を置いて帰って行くのだった。翌日も長吉がやってきたが、つやは昨日と同じように追い返した。欲望に体がうずいたつやは家を出て、たまたま出会った春夫と体を重ねた。春夫は、ひき逃げし車を河原に捨てたものの、台風で電車が止まってしまい足止めをくらったカップルの一人だった。

【クレジット】

監督 上垣保朗
製作 駒井憲二
企画 角田豊
プロデューサー 小林八郎
半沢浩
原作 高橋揆一郎
脚本 荒井晴彦
撮影 安藤庄平
美術 中沢克巳
編集 富田功
助監督 萩庭貞明
出演 中村晃子
高橋長英
柄沢次郎
浅野なつみ
亜湖
花柳幻舟